

平成 19 年度

都市局予算要求方針

- 目 次 -

1	平成 19 年度都市局予算要求総括表	1
	【一般会計】	
	【特別会計】	
2	19 年度予算要求にあたっての基本的考え方	3
3	予算要求の重点事項	4
	(1) 健やかに暮らせる共生の街さっぽろ	
	(2) 世界に誇れる環境の街さっぽろ	
	(3) その他（都市局独自重点事項）	
4	事務事業の見直し等	7
	(1) 事務事業の見直し	
	(2) 受益者負担	

1 平成 19 年度都市局予算要求総括表

【一般会計】

(単位：百万円)

区 分	平成 18 年度 予 算 額 A	平成 19 年度 要 求 額 B	増 減 額 B - A	増減率 (B - A) / A
市街地整備部	9,620 (2,665)	9,755 (2,839)	135 (174)	1.4% (6.5%)
建築部	855 (529)	846 (846)	9 (317)	1.1% (59.9%)
建築指導部	104 (76)	123 (87)	19 (11)	18.3% (14.5%)
合 計	10,579 (2,212)	10,724 (2,080)	145 (132)	1.4% (6.0%)

()内は一般財源額

【特別会計】

(単位：百万円)

区 分	平成 18 年度 予 算 額 A	平成 19 年度 要 求 額 B	増 減 額 B - A	増減率 (B - A) / A
土地区画整理会 計	7 , 0 4 0	6 , 5 2 8	5 1 2	7 . 3 %
団地造成会計	1 3 2	1 2 7	5	3 . 8 %

2 19年度予算要求にあたっての基本的考え方

1 魅力と活力あふれるまちづくりの推進

厳しい財政状況の中、より公共公益性の高い事業を優先し、予算配分の重点化を図る。

活力に満ちあふれた都市の発展を目指し、調和のとれた良好な市街地整備を進めるため、都市再開発事業や土地区画整理事業による総合的なまちづくりを推進する。

2 誰もが安心して暮らせる住まいづくりの支援

市民に対し、低廉で良質な住宅を提供するため、計画的な公的賃貸住宅の整備を推進する。

高齢化社会の進展等に対応し、高齢者や障がい者をはじめ市民が安心して暮らせるための住宅の普及を促進する。

市民が安全・安心に暮らせる住まいづくりを推進するため、共同住宅や木造戸建住宅について、耐震化に係る診断・調査等の支援を行う。

3 既存公共建築物の維持管理と長寿命化

「市有建築物の資産管理基本方針」に基づき、市有建築物の計画的な保全体制への移行を推進するため、「保全計画策定」や「耐震診断」等を柱に、市有建築物の長寿命化を目指し、計画的な修繕を行うとともにストックマネジメント体制の整備を図る。

市有建築物の整備において、建物の長寿命化に向けた取組を行う。

3 予算要求の重点事項

(1) 健やかに暮らせる共生の街さっぽろ

1 魅力あふれる地域づくりの推進

4,327百万円(4,522百万円)

注:()内は18年度予算額

ア 菊水上町地区住環境整備事業(市街地整備部) 99百万円

菊水上町地区の住環境と防災性の向上のため、関係部局と調整を図りながら地域住民とまちづくり勉強会を開催し、進行中の地区内の骨格道路整備に合わせて街区内道路の整備を行う。

イ 東雁来第2地区土地区画整理事業(開発事業部) 4,228百万円

都心部に近い恵まれた環境の中で、「スポーツ・防災・福祉・水と緑」をテーマとして道路や公園等の整備を行い、心ゆたかで、生きいきとした暮らしの実現を目指したまちづくりを行う。(事業期間 H8~H29)

2 地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進

456百万円(302百万円)

注:()内は18年度予算額

ア 既設市営住宅バリアフリー化事業(市街地整備部) 214百万円

既設市営住宅へのエレベーターの設置など、高齢者や障がい者を含めて誰もが安心して住むことのできる住宅ストックの形成に向けた取組を推進する。

イ 民間活力の活用による公的住宅供給事業(市街地整備部) 210百万円

低所得者や高齢者が適正な家賃で住むことのできる良質な賃貸住宅を供給するため、民間活力を生かした借上市営住宅や高齢者向け優良賃貸住宅の供給を進める。

ウ 住まいのプラットフォーム連携事業(市街地整備部) 7百万円

多様化・複雑化する市民の住まいの課題への確に対応するため、各種団体や専門家などと行政がそれぞれの役割を担いながら協働する場である「住まいのプラットフォーム」に対して、市民への情報提供に必要な支援等を行う。

エ 厚別副都心地区まちづくり事業(市街地整備部) 25百万円

交通結節点機能を有する厚別副都心地区において、公共交通機関相互の乗継動線のバリアフリー化を図るため、施設整備等を進める。

(2) 世界に誇れる環境の街さっぽろ

1 地球環境問題への対応と循環型社会の構築

833百万円(842百万円)

注:()内は18年度予算額

ア 保全計画策定(建築部) 48百万円

計画的な保全体制の基礎となる保全計画の整備を進め、市有建築物の適正な維持管理を図る。

イ 耐震診断(建築部) 18百万円

昭和56年以前の旧耐震基準により建築された市有建築物(企業会計所管分を除く)の耐震診断を実施するとともに、著しく耐震性能が低い建築物について耐震化緊急対策に基づき、耐震改修の進行管理、技術支援等を行う。

ウ 市有建築物長寿命化推進事業(建築部) 767百万円

計画的な保全体制への移行に向け、市有建築物の中からモデルを選定し、修繕を実施する。また、緊急性の高い施設の改修や修繕を行う。

2 歩いて暮らせる快適で美しい街の創造

412百万円(0円)

注:()内は18年度予算額

ア JR篠路駅西第2地区再開発事業(市街地整備部) 412百万円

民間活力を生かして建物・敷地の共同化や、公共施設の整備などを一体的に推進する再開発事業を支援・促進する。

(3) その他(都市局独自重点事項)

1 住まいの安全・安心の確保

31百万円(0円)

注:()内は18年度予算額

ア 木造住宅耐震診断補助事業(市街地整備部) 14百万円

本市の木造戸建住宅のうち、旧耐震基準で建築された一定の要件に該当するものを対象として、耐震診断に対する支援を行う。

イ 構造計算支援等事業(建築指導部) 17百万円

- ・マンション管理組合が行うマンションの構造計算書の調査に対して、一定の要件に該当するものを対象にその費用の一部を支援する。
- ・マンション管理組合からの構造関係の専門相談対応業務の強化のために、マンション関係の相談窓口を持つ(社)北海道マンション管理組合連合会に対して、その相談対応業務を委託する。

4 事務事業の見直し等

(1)事務事業の見直し

内部効率

一般事務費の節約や効率的な執務による時間外勤務手当等の抑制

< 9百万円 >

(2)受益者負担

市営住宅使用料及び市営住宅駐車場使用料の改定

(平成18年度見直しにおける負担軽減の縮小に伴う収入増)

< 7.9百万円 >